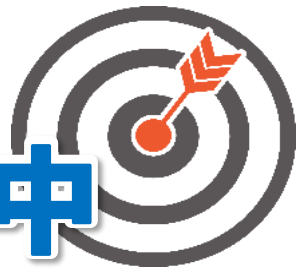


2022 ズバリ! 的中



地理

九州大学

オーストラリアの移民の歴史と政策の変化について 設問が的中!

入試問題

前期日程
地理 [2] 問2

河合塾

九大入試オープン
36頁 [2] 問4

[2] オセアニアの国家と社会に関する以下の問い(問1~4)に答えなさい。(50点)

問1. 表2は、「自らの先祖が何人であるか」という質問に対する、オーストラリア在住者による回答結果の概数を示したものである。表中のA~Dは、アイルランド人、アボリジニ人、イングランド人、中国人のいずれかである。A~Dに該当するものを、それぞれ答えなさい。

表2

回答者概数	回答
670万	オーストラリア人
640万	A
190万	B
50万以上100万未満	イタリア人、ドイツ人、C、スコットランド人
15万以上50万未満	ギリシア人、オランダ人、レバノン人、インド人、ベトナム人、ポーランド人
5万以上15万未満	マルタ人、フィリピン人、ニュージーランド人、クロアチア人、セルビア人、D、ウェールズ人、マケドニア人、フランス人、スペイン人、マオリ人、ハンガリー人、ロシア人、シンハラ人、トルコ人、南アフリカ人

・調査時点は2001年であり、当時の人口総数の93%が回答している。
 ・回答は2つまで可能であり、1人が複数回答を行っている場合がある。
 ・それぞれの回答者概数の欄の内訳では、人数の多い順に並べている。5万未満の回答については表から省略している。
 出典：Australian Bureau of Statistics, *Australian Social Trends 2003*に基づき作成。

問2. 現在のオーストラリアは世界でも有数の多民族国家である。オーストラリアにおける20世紀初頭から現在までの移民の歴史と政策について、以下の語句をすべて用いて、160字以内で述べなさい。

アジア インドシナ半島 白豪主義 ヨーロッパ

[2] オーストラリアとカナダに関する以下の問い(問1~4)に答えなさい。(50点)

問1. 表2は、オーストラリアとカナダにおける輸出先の上位5カ国と輸出額の変化(1960年、1980年、2000年、2018年)を示したものである。表中のA~Dは、アメリカ合衆国、イギリス、中国、日本のいずれかである。A~Dに該当する国名をそれぞれ答えなさい。

表2

	1960年		1980年		2000年		2018年	
	A	B	C	D	A	B	C	D
オーストラリア	B	313	C	2,570	C	6,249	B	41,186
	C	136	ソ連	1,137	韓国	4,742	韓国	17,576
	ニュージーランド	133	A	1,044	ニュージーランド	3,721	インド	11,705
	フランス	122	ニュージーランド	1,043	D	3,602	C	9,727
	計	2,023	計	22,056	計	63,521	計	254,692
カナダ	C	3,110	C	41,068	C	240,597	C	337,814
	A	943	B	3,751	B	5,936	D	21,218
	B	182	A	2,713	A	3,833	A	12,584
	ドイツ	171	ドイツ	1,388	D	2,443	B	9,966
	オーストラリア	102	ソ連	1,303	ドイツ	2,038	メキシコ	6,332
計	5,825	計	67,733	計	275,130	計	447,671	

・単位は百万ドル。小数点以下の数値は四捨五入している。
 出典：Direction of Trade Statisticsに基づき作成。

問4. オーストラリアとカナダにおける移民や民族に関する近年の政策について、両国の歴史的背景を踏まえながら、以下の語句をすべて用いて200字以内で述べなさい。

先住民 アジア系 白豪主義 二文化主義